

5月
臨時会

白浜小学校屋内運動場等改築及び 施設改修工事請負契約の 締結 1 議案を可決

平成24年5月臨時会は、5月24日に招集され1日の会期で開催されました。
今臨時会に提出された議案は、白浜小学校屋内運動場等改築及び施設改修工事請負契約の締結の1議案で、審議のうえ可決しました。また、東総衛生組合議員の選挙が行われました。

議案第一号

白浜小学校屋内運動場等改築及び施設改修工事請負契約の締結について(可決)



体育館が解体された白浜小学校

白浜小学校屋内運動場等改築及び施設改修工事請負契約の予定価格が条例で定める基準に該当するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

契約方法 一般競争入札
契約金額 5億4,799万5千円
(うち消費税及び地方消費税の額2,609万5千円)
契約の相手方 山武郡横芝光町木戸株式会社 畔蒜工務店
代表取締役 畔蒜毅

東総衛生組合議員に 鈴木和彦議員

今臨時会において、東総衛生組合議員の選挙が行われ、鈴木和彦議員が当選しました。

議 会 日 誌

5月

- 7日 町農業振興地域整備促進協議会
姉妹都市・姉妹町表敬訪問(8日)
- 9日 町観光協会役員会
- 14日 成田空港周辺市町議会連絡協議会役員会及び総会
- 16日 山武郡市議会議長会臨時総会
- 17日 町老人クラブ連合会定期総会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 八匠少年少女発明クラブ総会
- 22日 例月出納検査
平成24年度山武・東総地区広域幹線道路網整備促進期成同盟会総会・銚子連絡道路地区大会
- 24日 5月臨時会
町国保運営協議会
町商工会第6回通常総代会
- 26日 白浜小学校運動会
町食肉センター獣魂祭(公社)町シルバー人材センター平成24年度通常総会
- 27日 町消防ポンプ操法大会
成田山御本尊不動明王上陸聖地報恩大法会奉修産業建設常任委員会視察

6月

- 1日 第1回千葉県町村議会議長会定例会
- 2日 町観光協会通常総会
東陽小学校運動会
町によるPCB試験研究に関する住民説明会
- 6日 白浜小学校屋内運動場等改築及び改修工事地元説明会
光中学校体育祭
- 10日 議会定例会(初日)
- 12日 議会定例会(2日)
- 15日 議会定例会(3日)
- 17日 横芝地区神社総代会総会
- 19日 議会定例会(3日)
- 20日 例月出納検査
- 21日 夏期観光安全対策本部会議
- 22日 町介護保険運営協議会
- 24日 町夏期農業改良共進会
第34回山武消防ポンプ操法大会
- 26日 匝瑳市横芝光町消防組合議会臨時会

7月

- 27日 議会活性化検討委員会
- 29日 町養豚部会肉豚共進会
町安全会議
- 1日 行政総務員連絡会懇親会
- 2日 山武郡市広域行政組合議会臨時会
- 4日 山武郡市議会議員研修会
- 5日 広報委員会
- 6日 山武郡市議会議員研修会
山口県光市長来町
匝瑳市横芝光町危険物安全協会定期総会・設立40周年記念式典
- 9日 広報委員会視察研修(多古町)
- 10日 東陽病院運営検討委員会
- 13日 市町村議会広報研究会
- 14日 屋形海水浴場安全祈願祭
- 20日 例月出納検査
広報委員会
匝瑳市ほか二町環境衛生組合監査
- 23日 町学校給食センター運営委員会
- 24日 芝山鉄道延伸連絡協議会
主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会総会
- 25日 総務常任委員会(匝瑳市横芝光町消防組合視察)
- 26日 議会活性化検討委員会
- 27日 山武郡市議会議長会視察研修
- 28・29日 白浜夏まつり
- 30日 議会議員全員協議会

成田空港の「容量拡大30万回」に伴う騒音対策は

Bラン直下については

町独自の対策事業を検討



五木田 平和 議員

Q 成田空港の離発着数が実際に30万回になるのは何年後になるのか。また、滑走路別の現在の離発着数と今後の増枠予定数について伺いたい。

A 平成26年度末には30万回までの増枠が可能とのこととです。20万回運用時にはA滑走路が13.5万回、B滑走路が6.5万回でしたが、30万回運用になると両滑走路ともに15万回へ増えていくとのこととです。

Q 騒音測定は、町全体では何カ所所で実施しているのか。また、騒音のレベル(Aラン・Bラン別)は、以前に比べてどのように変わってきているのか。

A 通年で実施している場所が8カ所、夏と冬にそれぞれ1週間ずつ実施している場所が29カ所、町全体では37カ所で騒音測定を行っています。Aラン直下地域では、航空機性能の向上や大型機の減少等により、開港当時に比べると騒音レベルは低くなってきていますが、Bラン直下地域については、ここ数年B滑走路が

どこで線引きされているのか。今後、対策事業は実施されるのか。(Bラン直下地域でも騒音対策事業は実施されるのか。)

A 対策区域については、国の法律で定められた「騒音コンター」により線引きされており、これによって騒防法の第一種区域となった地域などで各種の騒音対策事業が行われています。これらの地域では、今後も同様の事業が実施されますが、当町のBラン直下地域には「騒音コンター」が引かれておらず、今後も国の法律による対策事業は実施されませんが、近年は、AランBランの騒音格差が縮まってきておりますので、町騒音対策委員会の意見等を伺いながら、町独自の対策事業を検討していきたいと思っております。

A 町全体の騒音状況も確認できてきましたので、年内には開催し今後の「騒音迷惑料の単価」等について協議・検討してもらいたいと思っております。

Q 騒音対策事業の区域は

町騒音対策委員会の意見等を伺いながら、町独自の対策事業を検討していきたいと思っております。

新町長公約からの2点と新マスタープランは優先順位を設定しつつ効果的な推進を



浅野 孝男 議員

Q 公約の第一であります「公正公平な入札制度の構築」について?

A 入札過程の公正と透明性の確保、談合その他の不正行為の徹底排除のうえ、500万円未満の工事については、地元中小事業者者に配慮しながら発注するよう努めてまいります。

Q 公約の二点目は「お年寄り安心して暮らせる町創り」について

A 一人暮らし高齢者や高齢世帯を対象とした、暮らし相談窓口「お年寄り二こ番」の開設を検討いたします。また、東陽病院の運営につきましては、今後も町立病院の責務として、住民の医療需要に的確にこたえ、地域の基幹病院として健全運営を目指してまいります。

Q 新マスタープランの基本的な考え方とその進め方について。また、横芝光町の将来の姿であるこの素晴らしい都市計画が『絵に描いた餅』に終わることのないよう、具体的推進方策をご説明願います。

A 議員提案の「栗山川の公園化」につきましては、マスタープランに示されており「川づくり協議会」の設立を図り、進めていくことが妥当であると考えております。また、「坂田城跡周辺の公園化」につきましては、坂田城跡は県内でも稀な、良好の状態に保存されている歴史的財産であります。そして、坂田城跡の北側には県内有数の梅林団地が広がり、多くのお客様が訪れる観光スポットに成長いたしました。これらは、よそに誇れる貴重な財産でありますので、関係する機関と連携して積極的に取り組んでまいります。

おります。また、「坂田城跡周辺の公園化」につきましては、坂田城跡は県内でも稀な、良好の状態に保存されている歴史的財産であります。そして、坂田城跡の北側には県内有数の梅林団地が広がり、多くのお客様が訪れる観光スポットに成長いたしました。これらは、よそに誇れる貴重な財産でありますので、関係する機関と連携して積極的に取り組んでまいります。

新たな産業地の形成と、農業振興等による活力ある都市づくりにつつましては、

①隣市町では早くから「道の駅や同等の施設」が建設され活気あふれる運営がなされており、町といたしましては、元気な農業と町の活性化に繋がる販売交流拠点(道の駅等)の建設を検討してまいりたいと思っております。

②観光振興については、子ども国跡地にパークゴルフ場やドッグラン等の町内外の人々が交流できる海浜交流ゾーンを開発してまいりたいと思っております。

放射線量測定等の 取組状況は

不安解消へ向け 測定器の貸出開始へ



齋藤 順一 議員

Q 学校給食に関して、今後とも児童・生徒の食の安全を望むが、給食センターの食材等の放射線量測定についての状況は。

A 県事業を活用し、給食用食材の放射線物質検査を実施したいと考える。本年

5月の段階で、既に2回の検査を実施。検査した4品目の食材からは放射性物質は不検出であった。本格運用は、6月から始め、食材の使用頻度などを考慮し、月2回、各3食材の検査を実施予定。検査結果は、町ホームページと給食献立表等を利用し公表したい。

Q 町民の放射性物質への不安軽減を希望するが、町全体の放射線量測定等の取組状況は。

A 昨年6月から、簡易測定器により町内保育所等19ヶ所で、定期的な測定を実施している。また、昨年9月からは、町内の公園等の公共施設での定期的な測定も実施。測定数値は、広報紙やホームページで公表しているが、国が定めた除染対策の基準を下回っている。町民の不安解消のため、身近な生活環境の放射線量を把握できるよう、測定器を購入し、貸出す計画である。

Q 震災がれきの受け入れの進捗状況は。

A 町では、がれきの受け入れ先である環境衛生組合と協議を進めている。組合では、住民への説明責任を果たすことや周辺住民の理解を得ることが、重要であると考えている。山武郡市環境衛生組合では、周辺住民への説明会を5月26日に実施し、同意を得ており、匝瑳市ほか二町環境衛生組合では、6月末までに説明会を終了した。町では、国が安全基準や経費支援策等を明確にすること、県が調整役としての機能を果たすこと等を前提に、受け入れの検討を、両組合へ要請している。

Q 東日本大震災後に町は何を改善したか。

A 昨年9月に実施した防災訓練では、海岸部のマン

町民会館トイレの改修を

現在、改修を検討



川島 富士子 議員

Q 町民会館トイレの改修について

A 平成22年度には公共交通庁内検討委員会を設置し調査・研究を行いました。また、昨年12月20日には第一回横芝光町地域公共交通会議を開催しました。今年度は、循環バス利用状況の現状及び課題の整理、デマンド交通の調査・研究を行い、横芝光町の実情に応じた地域公共交通の導入を検討してまいります。

改修工事を行い、平成25年度に内壁や照明、便器などの全面的な改修工事を計画したいと考えております。

Q デマンド交通への取り組みについて

A 現在、匝瑳市ほか二町環境衛生組合が定める資源ごみ袋については、容量40リットルのものを使用しています。山武郡市環境衛生組合とは違い、「カン」と「ピ

A 町民会館は、昭和59年2月の開館以来、社会教育の拠点施設として、防災施設避難場所として、重要な施設に位置づけられております。多くの町民の皆様が利用する町民会館ですが、トイレについては、開設以来ほとんど改修していない状態であり利用者から「暗い」「臭い」「使いづらい」など、トイレに関する不評のご意見をいただいております。現在、「明るく」「清潔」で「利用しやすい」トイレを目指し、改修を検討しており、平成24年度予算においては、まず排水管の

Q 資源ごみ袋の小について

「ン」を混合できず、「ビン類」や「ガラス類」については、一袋の重量が大変重くなり、ごみ出しや、搬入についても、支障をきたしていますので、現在使用している容量の半分の20リットルの袋を本年度中に導入いたします。

※その他の質問
・本年度予算及び重点施策の取り組みについて
・PCB廃棄物を使用した試験研究について
・地震・津波・液状化等、更なる対策の強化について
・防災教育の取り組み強化について

A 現在、匝瑳市ほか二町環境衛生組合が定める資源ごみ袋については、容量40リットルのものを使用しています。山武郡市環境衛生組合とは違い、「カン」と「ピ

・学校通学路の安全対策について
・ビッグハウスのところ・鳥喰セーブオンのところ・サビア方面の出入口・セブインレブン横芝光インター店のところの信号機設置等、交通安全対策について

町有地の活用について

有識者の入った

検討委員会設置を検討



鈴木 和彦 議員

Q北清水下水処理場予定地について

Aこの土地については、創設非農用地換地で、町の行政財産となっております。土地の活用を図るうえで、農地転用が可能かどうか調査・研究し、町が使うというだけでなく、幅広く活用すべく検討したい。

Q町有地の跡地活用検討委員会に、有識者やコンサルなどを入れて検討してはどうか。

A検討委員会委員については、再度検討したい。

Q旧横芝町役場の跡地利用について

A旧横芝町役場庁舎や旧公民館の建物は、文化財保

管や書庫などとして使用していますが、今後の活用方法は建物の解体を含めて慎重に検討したい。匠瑛市横芝消防組合横芝分署が建築後40年以上経過していることや、道の駅等に活用など多方面から検討してまいります。

Q旧横芝中学校跡地利用について

A旧横芝中学校跡地ですが、用地の境界確定、道路用地の分筆等登記関係を整備完了後、活用方法を検討することで進めてまいります。しかし、土地所有に係る事務の整理には、さらに時間を要すると思われるので、課題を解決しながら引き続き具体的な活用方法を検討させていただきたい。

Q農産物直売所(道の駅)の設置計画はあるか?

A銚子連絡道路横芝光イ

ンターチェンジに隣接した場所に、町から要望して休憩施設の検討がされましたが、銚子連絡道路が高規格の一般道路に計画変更されたことから、この場所での直売所設置は無理な状況にあります。

Q農業と観光が連携した町おこしや町内産農畜産物の安心・安全、地産地消のため農産物直売所の設置を提案します。

A町内産の新鮮な野菜など地産地消に向けた直売所を設置することが必要と思っております。運営については、JAや農業振興会、そして農家の合意による営農組織等が主体となつて、健全運営を目指していく姿が望ましいと考えております。町の活性化に繋がる拠点として直売所を積極的に検討してまいります。

旧横芝中学校跡地利用は 住民との協議の場を検討



杉森 幹男 議員

Q横芝中学校に向かう通路は生徒の交通事故回避のために必要不可欠であるが今年度の予算額と今年度での位の進捗状況になるのか?

A今年度は3000万円予算計上し、88%(残り1件、80坪)に達し、また、できない区間(120M)は歩道だけ建設する予定です。

Q横芝中学校跡地利用について

A横芝中学校跡地利用について、整備を進めます。

Q地元住民は避難所がない状況であり、以前、私の質問に対する答弁として「外部委員を入れて検討する、地元とも協議したい」とのことでしたが、実施したのか?地元からの陳情があったと聞いているが、認識しているのか?やはり、早急に住民に対して新町長は説明し、方向性を出さなければならぬのではない

のか? **A**現在まで外部委員を入れた検討はしていません。また、確かに平成20年に上町区長から陳情があり、前向きに検討する、と回答しました。しかし、今一度有効利用を考える上で、地元住民の皆様と協議する場を設けるよう検討します。

Q全体でどの位の基金があるのか?一例として、文化スポーツ振興基金などは、施設の改修工事などに使われているが、ハード面ではなく、ボランティア団体への補助などのソフト面での支援をしてみても?

A町全体の基金残高は約36億3千万円となっております。一例として、他の自治体ではスポーツ関係の基金で、大会開催事業、全国大会への出場事業、指導者のスキルアップ研修に対して助成しています。です

で、住民に説明・理解が得られる形で、規則などを議論し、整備を進めます。

Qホームページによる啓蒙活動で十分であるのか?紙媒体もいいのではないのか?団員確保には一番近くで接している担当課からも提案し、実施してみては?

A確かに年長者は紙媒体の方がいいと考えます。ですので、各部から要望があればタイムリーに掲載し、以前は団員を対象にレクリエーションを行った経緯がありますので、団本部と協議して参ります。

Q現在の明るさで、来庁者にとって入りやすい庁舎なのか?検証してみたいかがでしょうか?

A再度、検証し、対処いたします。

一般質問

産業廃棄物処理問題への対応

断固反対をする決意です



議員 若梅 喜作

Q 産業廃棄物試験研究に対し、今後想定される事態にどのように対応するの

A 今後想定される事態としては、試験研究計画者については、ひかり食品跡地で微量PCB廃棄物の中間処理業を計画しております。4月17日に千葉県知事に対して、町議会、農業委員会と共に断固反対する意見書を提出してまいりました。私の決意は、住民の生命、健康、財産を守り自然環境を保護する立場から、断固反対する決意であります。

Q 自主防災組織について自治会組織が中心となる組織は、隣近所のお付き

合いの中で家族構成なども把握されており、重要な組織と考えております。昨年も防災講演会を開催し自主防災組織の重要性、必要性をお話しいただきました。町でも多くの組織が設置できるよう努めてまいります。

Q 病院事業の現状と改善への取り組みについて

A 前年度と比較して入院、外来人数共減となりました。事業改善の取り組みとして、療養病棟の使用薬品をジェネリックに変更し材料費の削減を図ったことや、医療事務、給食業務等を全面委託とし人件費の削減や効率化を図ってまいりました。今後も民間的経営手法の導入や、事業規模、形態の見直しも改善の視野に入れ、医業収益の増加やコストの削減に努め、より良い病院運営ができるよう努力してまいります。医師

確保については、千葉大学や旭中央病院への働きかけにより医師確保をお願いしております。MRI装置は平成22年4月9日から稼働しております。当初計画では、1日3件の利用でランニングコストが確保できる見込みでしたが、現時点では計画件数に達しておりません。しかしながら脳神経外科の常勤医師を採用することができましたので、各部署との連携により活用が図れるものと考えております。今後も新規外来患者や町開業医との連携による患者確保に努め、利用率の向上を図ってまいります。

※その他の質問

- 一・防災マップの配布、避難場所の再検討について
- 一・津波被害軽減策、海岸防災対策について
- 一・防災訓練の実施要領の検討について

自治体クラウド導入の計画あるのか

ITコストの削減とデータ保存の安全性があり検討する



議員 森川 忠

Q PCB問題について現在の状況と今後の対応は?

A 千葉県環境生活部廃棄物指導課と情報の共有化を図りながら、合わせて議会や町民への正しく迅速な情報公開をしていく。

Q 自治体クラウドの導入計画は検討されているのか?

A ITコスト削減と災害への備えとしては、有効であると思われまます。ネットワーク上のセキュリティや個人情報保護など問題点や課題もあるようですので、総務省が実施した自治体クラウド開発実証事業結果からの国の動向や近隣市町の対応等を注視し

情報収集しながら検討します。

Q 公共交通会議について平成22年度の公共交通庁内検討委員会の結果では、デマンド方式が適しているとの報告がありました。今後は、現循環バスの現状と課題を整理し調査・研究を行います。住民アンケートは町職員が循環バスに乗車、利用者からの生の声を聴取し集計・分析を行う段階になりました。

Q 横芝駅東側の第一千葉銚子街道踏切の遮断時の緊急車両の対応について

A JRからの回答ですが、上り電車が駅のホームに近づく踏切が遮断する仕組みになっていて結果として遮断時間が長くなっている。消防組合からは安全のため電車が通過するのを待ち現場に向かうことになっていて。

Q 町ホームページについて。合併から開設以来変更もなく見やすいとはいえないのでは? またSNS等災害時にも強い「Face book」や「twitter」など導入されるかどうか?

A ホームページ作成後6年を経過していることから、ホームページ等検討委員会を立ち上げ、ホームページのリニューアルやSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の採用についても検討して参ります。また、職員向けホームページ研修会を開催し、情報提供の迅速化を図ります。

Q 生活保護について

A 24年4月1日時点で、高齢者世帯や障害者世帯など136世帯、175名が受給している。今後も就労支援についてはできるだけ求職活動を継続し自立を目指すよう指導していく。実施機関の県と連携を取りながら生活保護制度の適正な運用に努めていく。

Q 一号線道路工事の歩道安全対策と桜の木撤去後の植樹について

A 横芝小児童の通学路にもなっていて交差点も含め千葉県公安委員会と調整をしている。また桜は隣接住民と話し合い支障のないものは残し、植樹もしていきたい。

ポリ塩化ビフェニル (PCB) 問題について

町民の視点に立った情報公開を進めます



山崎 貞一 議員

Q PCB事業者に対する広域的行政間の連携について。

A 本格操業ということになれば、万が一の事故や災害の発生についても想定しなければなりません。栗山川の汚染も懸念されますので、栗山川汚染防止対策協会の構成市町や農業用水として利用する土地改良区と協議をし、連携を図っていきます。

Q PCB事業者の許認可について。

A 廃棄物処理法第15条に基づき2通りの許認可があります。国が認定する無害化処理施設は、環境大臣が個々の施設ごとに安全かつ確実に処理できることを確認して認定を行なうこととなっています。また、県が許可する施設は、「千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱」に基づく事前協議により、環境保全協定を当該市町村又は関係地域住民と締結することになっています。なお、国・県のいずれかの許認可施設は、当該市町村長の意見書が求められることと、周辺住民については、意見書を提出できることとなっています。

Q PCB産業廃棄物などの情報公開について。

A 町のホームページや広報紙等を最大限活用し、町民の皆様の視点に立った情報公開の取り組みを進めていきます。

Q PCB廃棄物等の持込禁止に関する条例化について。

A 条例の制定については、町の顧問弁護士にも相談

談しましたが、関連法令の解釈によっては、違法性が問われる場合があり、研究や営業等に支障が出て、町への損害賠償等の不利益についても、可能性があることから、今後とも関係機関や弁護士とも相談しながら、研究をしていきます。

Q 『行政改革』行政サポートシステムの構築の協働意識の高揚についての見解は。

A 町では、NPO法人などの連携を進展させ、まちづくりに関する情報の提供と共有化に努め、住民と行政のパートナーシップをより綿密にすることで協働意識の高揚を図って行きます。

Q 人材派遣や県・町職員や教職員OBなどの登録制による効果的な活用について。

A 県・町職員や教職員のOBなど行政等の経験のある方を事前に登録することにより、効率よく効果的にご協力いただけることが出来るかと考えますので、今後、登録制度について検討して行きます。

議会広報研究会に参加して



講師の
深沢徹氏



参考となった研究会

7月13日、千葉県自治会館にて開催された「市町村議会広報研究会」に広報委員6名で参加しました。講師は深沢徹氏でテーマは「議会広報に求められるものは」サブタイトルは「ありのままに分かりやすく住民とともに」というご講演をいただきました。

横芝光町の「議会だより」ですが、今まではほとんど事務局に任せきりでありましたが、本来は広報委員が中心に議員が発行すべきだと思います。町民の皆さまにとって議会を知っていただく重要な手段の一つではないでしょうか？ 今後は「分かりやすく」「興味を持っていただく」を目標に編集発行に努力してまいります。

広報委員 森川 忠



活発な意見交換が行われた

多古町議会

広報特別委員会を視察

広報委員会は去る7月9日、多古町議会広報特別委員会を訪問し、「議会だより」の発行までの概要、編集体制、作業予定等の研修を行いました。椎名委員長はじめ委員の皆様には多忙の中、快く対応していただき、活発な意見交換を行うことができました。編集を進める中で、常に町民の皆様を意識している様子が見られました。

かがわれ、参考になりました。「議会だより」は議会の広報であり、議会の内容は素より、議員の活動等をお知らせしておりますが、より一層紙面の充実を図り、町民の皆様親しんでいただけるよう努力してまいります。

広報委員 若梅喜作